

## 取扱説明書

### ポータブルCDアンプ

品番 WE-370A

## もくじ

### ご使用前に

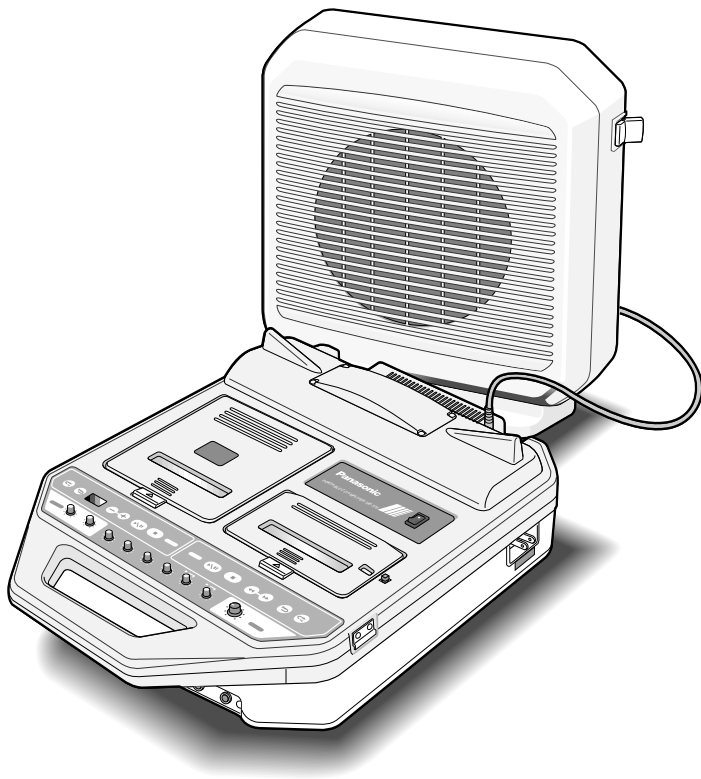
はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	3
安全上のご注意	4
取り扱い上のお願い	6
各部のなまえ	9

### 操作方法

設置のしかた	12
CDを演奏する	13
テープを演奏する	15
放送する	17

### その他

ワイヤレスチューナーユニットの 取り付けかた	19
お手入れ	21
CDプレーヤー	21
カセットプレーヤー	21
故障かな!?	22
仕様	24
保証とアフターサービス	27



上手に使って上手に節電

#### 保証書別添付

このたびは、ポータブルCDアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4ページ~5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。  
・保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用前に

操作方法

その他

# はじめに

## 商品概要

本機は、CDプレーヤー、カセットプレーヤー、800 MHzのPLL方式ワイヤレスチューナーを搭載し、セパレート型のスピーカー部を一体にして持ち運びできる可搬型のポータブルCDアンプです。

- スピーカー部は、最大10 mまで本体部から分離可能。操作部を手元に置いたまま、スピーカー部を最も音が聞き取りやすい位置にセットできます。
- 20 cm大型スピーカーと最大出力25 Wのハイパワーアンプを搭載し、遠くまで明瞭に届く聞き取りやすい高音質を実現しています。
- 別売りのワイヤレスチューナーユニットWX-D4004Aを1台取り付けることにより、2チャンネルのワイヤレスマイクロホンと同時に使用することができます（ワイヤレスチューナーユニットは合計2台まで取り付け可能）。
- 有線マイクロホン2本とワイヤレスマイクロホン2本の合計4本のマイクロホンと同時に使用できます（4本中、有線マイクロホン1本とワイヤレスマイクロホン1本の音量調節は、個別に調節できません。それらをミキシングしたあとの音量調節となります）。
- CDプレーヤーには、再生速度可変機能、1曲演奏、メモリーリプレイなどの多彩な機能を搭載しています。
- カセットプレーヤー（録音機能なし）には、再生速度可変機能、頭出し、1曲演奏、メモリーリプレイなどの機能を搭載しています。
- ダイバシティ方式\*の採用により電波の受信を確実にし、デッドポイントの発生を低減しています。  
※ダイバシティ方式とは、複数のアンテナで受信した信号のうち、電波の安定した信号を採用する方式です。
- ワイヤレスマイクロホンWX-4100Bを2本収納可能です。
- 電源コードは、巻き取り機構を採用しており、後片づけが簡単です（電池での動作はできません）。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1冊	グループ・チャンネル設定用ドライバー .....	1本
保証書 .....	1式	チャンネル表示ラベルシート .....	1シート
		ワイヤレスチューナーユニット （本機に装着済み）.....	1台

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。



- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害

# 安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

ご使用前に

## 警告

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 雷が鳴ったら屋外で使わない



禁止

落雷の恐れがあります。

- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## ⚠ 警告

### 電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、  
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、  
重いものを載せたり、束ねたりしない )



傷んだまま使用すると、感電・ショーク・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

### 不安定な場所に置かない



落下によるけがの原因になります。

禁止

### 機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 本機の上に乗らない



禁止

踏み台や腰掛けにすると、けがの原因になります。

### スピーカー部を高所に設置しない



禁止

落下すると、けがや製品の故障の原因になります。

## ⚠ 注意

### 電源を入れる前に、各音量を最小にする



突然大きな音を出すと、聴力障害、けがや事故の原因になります。

### 湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

# 取り扱い上のお願ひ

**⚠ 警告 ⚠ 注意** に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

## 設置上のお願ひ

### 使用電源は

AC電源 (AC100 V、50 Hz/60 Hz) です。

### 電源について

本機の電源スイッチは上面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜いてください。

### 本機は防水型ではありません

雨の中での使用や直接水のかかる場所では使用しないでください。

### 以下の場所には設置しないでください

- 夏季の閉めきった自動車内
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近く
- 湿度が高い場所

### 水平位置でご使用ください

縦置きや傾けて設置しないでください。また、振動の多いところで使用すると、音飛びを起こすことがありますので、避けてください。

### 本機の設置場所について

屋外など電波反射のないところでは、本体部をできるだけ高い位置 (50 cm以内) に設置してください。また、水滴または水しぶきのかからない状態で使用してください。

### スピーカー部は話す人の前に置く

後方に置くと、スピーカーの音がマイクロホンに入り、ハウリング (キーンという音) を起こす場合があります。

## ワイヤレスマイクロホンについて

### デッドポイントにご注意ください

金属物の近くや、鉄筋コンクリートの狭い部屋でワイヤレスマイクロホンを移動しながら使用すると、電波の反射や干渉により急に音が出なくなることがあります。これをデッドポイントと呼びます。

デッドポイントを解消するには、本機の位置を金属製の机やロッカーなどから1 m以上離すか、設置場所を1 m~2 m移動してください。

### ダイバシティ効果について

十分なダイバシティ効果を得るために、ワイヤレスマイクロホンは、本機から30 m以内で使用することをおすすめします。

### 使用可能マイクロホンについて

本機は下記の800 MHz帯ワイヤレスマイクロホン (別売品) に対応しています。

トーン周波数: 32.768 kHz

WX-4100B、WX-4212C、WX-4300B、  
WX-4360B、WX-4370B、WX-4400C、  
WX-4600、WX-4700、WX-4800

### 近くの妨害電波にご注意ください。

100 m以内に同じ周波数の電波を発する機器、高周波ミシン、高周波乾燥機など高周波を使う機械や各種直流モーター、自動車など電気火花を発生する機械がないか確かめてください。

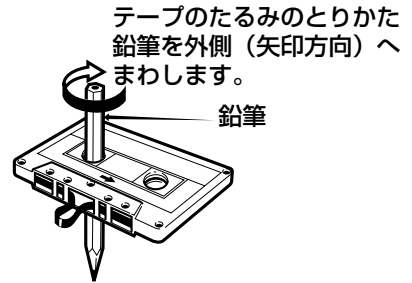
やむをえずこれらの機器の近くで使用する場合は、ワイヤレスマイクロホンと本機の距離を2 m~10 m以内にしてください。

また、テレビやラジオなどの送信アンテナの直下では到達距離が短くなる場合があります。

# カセットテープについて

## カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがあるときは、鉛筆などで巻き取ってからご使用ください。
- テープを引き出したり、テープ面に触れたりしないでください。
- テープの巻きが強いときや、巻きむらがある場合は、一度早送りし、巻き戻してからご使用ください。
- 万一、テープが巻き付いたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



## カセットテープの保管について

- 磁気の影響を受けやすい場所（テレビの上や磁石などの近く）は避けてください。
- 高温、多湿、直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- 必ずケースに入れて保管してください。

### メモ

- 90分以上のテープは一般のテープに比べて薄く、トラブルが発生しやすいため、使用しないでください。

# CDプレーヤーについて

- 次のような場合、CDプレーヤーのレンズに露（水滴）がついて正しく演奏できない場合があります。このようなときは電源を入れ、約1～2時間待つてからご使用ください。
  - ・暖房を始めた直後の部屋
  - ・湯気や湿気の多い場所に置いてあるとき
  - ・冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

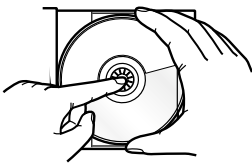
- CDプレーヤーのレンズにほこりが付かないように、CDプレーヤーふたは必ず閉じておいてください。またレンズには手を触れないでください。
- CDプレーヤーを演奏するときは、ラジオやテレビから離してください。雑音や画像の乱れを与えることがあります。
- 傷の付いたCDは、本機で再生できない場合があります。

# CD（コンパクトディスク）について

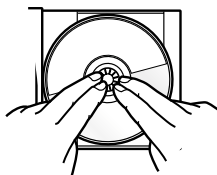
- 本機で使用できるCDは、右のマークが入っているものに限り  
ます。



- ケースからの出し入れは、次のように行ってください。



センターホルダーを押さえ、演奏面に触れないように出す



ラベル面を上にして、上から押さえて入れる

- CDを持つときは、必ずセンターホールと外周部分を持ってください。演奏面には触れないでください。



- ラベル面に紙などを貼ったり、字を書いたり、傷をつけないでください。
- CDは曲げないでください。



- CDに汚れやゴミがついたときは、水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。（必ず内側から外側へ拭いてください。）



- CDを長時間使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。また、直射日光が当たるところや暖房器具の近くには置かないでください。

## 使用上のお願い

### ご使用の際は

必ずスピーカー部を開けるか、または離してください。

### ワイヤレスチューナーユニットについて

チューナーユニットは、専用品(WX-D4004A)をご使用ください。他社品など専用でないものを使用すると、音途切れなどの不具合が発生します。

### 他のワイヤレス機器と組み合わせてご使用になるとき

- マイクロホンどうしは50 cm以上離してください。
- 本機とワイヤレスマイクの距離は2 m～10 m以内にしてください。なお、2 m以内に近づきますと飛び込みや混信などが発生することがあります。

### スピーカーについて

- スピーカーの振動によって、スピーカー部のバックルから振動音が出る場合があります。その場合は、主音量調節つまみを回して音量を下げてください。振動音が改善されます。
- スピーカーおよびスピーカーケーブルは、本機のものをお使いください。他のスピーカーを使用したり、スピーカーケーブルを延長した場合は、故障の原因になります。

### 持ち運びにご注意ください

スピーカー部と一体にして持ち運ぶ場合は、バックルが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。スピーカー部が落下してけがや故障の原因になります。

また、運搬中、強度の振動を与えたり、投げ出したり、乱暴な取り扱いをしないでください。回転機構に異常が生じたり、破損することがあります。

人や足にぶつかったり、誤って落としたりするとけがの原因にもなり、大変危険です。

### 消耗部品について

カセット部のヘッド、ピンチローラー、ベルト、モーター、CD部の光ピックアップは消耗部品となりますので、定期的に交換してください（目安として約1 000時間のご使用ごと）。なお、部品代ならびに交換費用は保証期間中であっても有償とさせていただきます。

### お手入れについて

お手入れは電源を切って行ってください。けがの原因になります。

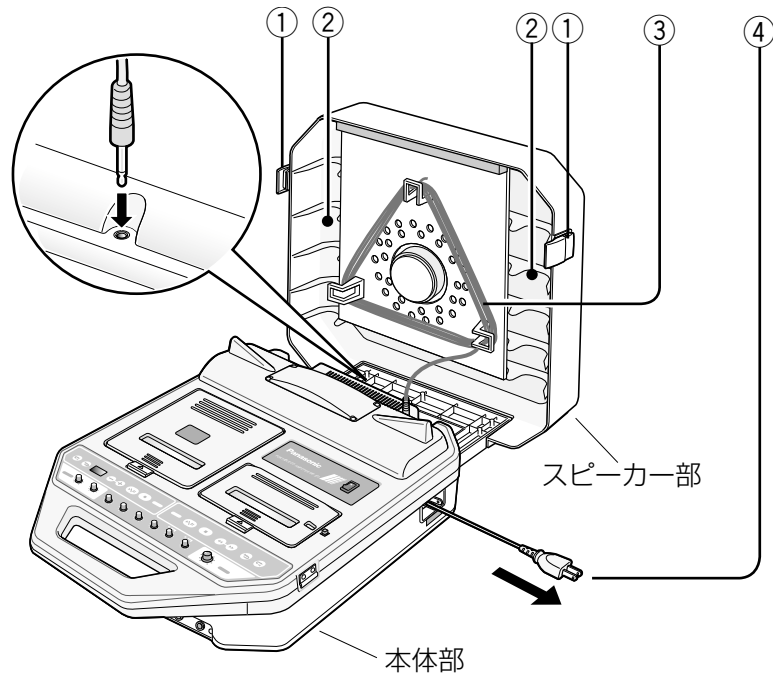
ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。製品が変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

### 汚れがひどいときは

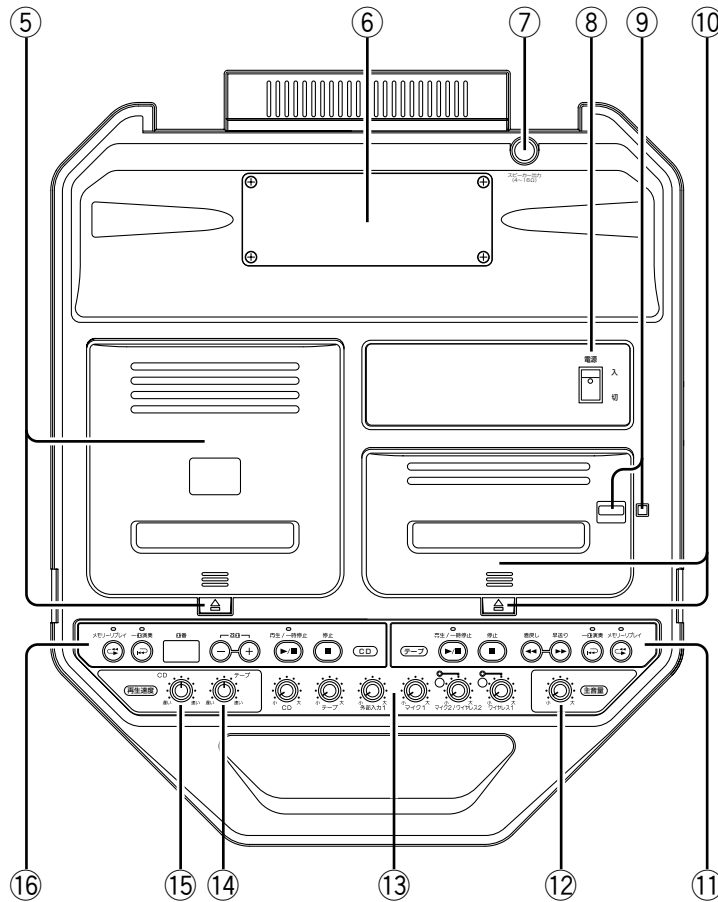
水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。



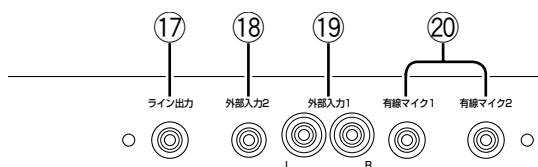
# 各部のなまえ



## ●本体部



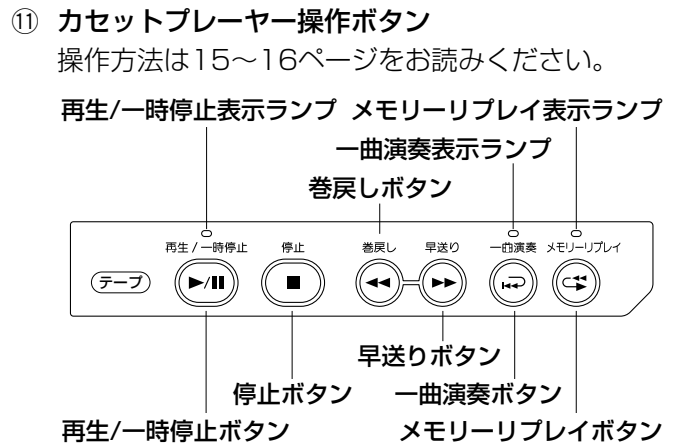
## ●接続端子部



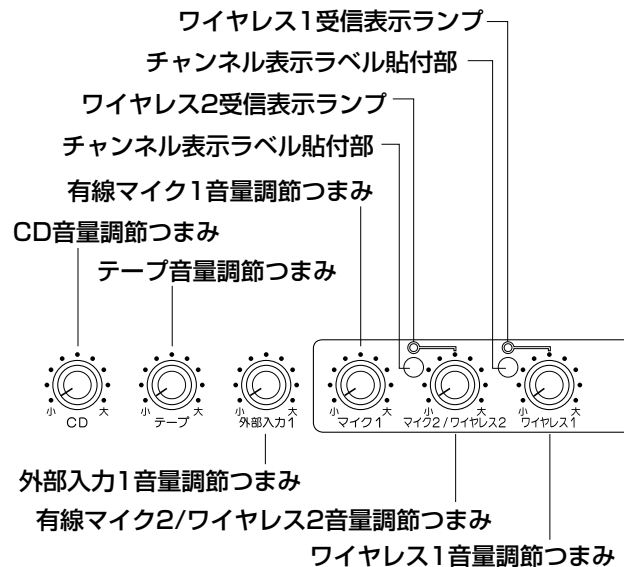
ご使用前に

# 各部のなまえ (つづき)

- ① **バックル**  
本体とスピーカー部を固定します。スピーカー部の開け閉めは、このバックルを持って行くと安全に開け閉めができます。
- ② **ワイヤレスマイクロホン収納スペース (2本)**  
ワイヤレスマイクロホン WX-4100Bを収納できます。
- ③ **スピーカーケーブル**  
巻き枠 (3か所) にスピーカーケーブルを巻いて収納します。スピーカー部と本体を離して使用するときは、この枠からケーブルを外し約10 mまで延ばせます。
- ④ **電源コード**  
使用するときにはまっすぐ引き出します。引くのをやめるとロックされます。戻すときは、少し引いて離すとリールに巻き取られ収納できます。  
**重要**  
●黄色のマークが現れたらそれ以上引き出さないでください。断線など故障の原因となります。また、無理に押し込まないでください。
- ⑤ **CDふた、ロックボタン**  
ロックボタンを押すとCDふたが開きます。CDを演奏するときはCDふたを閉めてください。
- ⑥ **ワイヤレスチューナー装着部**  
装着済みのワイヤレスチューナーユニットの他に別売のワイヤレスチューナーユニットWX-D4004Aを1台増設できます。  
(☞ 19～20ページ)
- ⑦ **スピーカー出力端子**  
スピーカーケーブルのプラグを差し込みます。
- ⑧ **電源スイッチ [電源 入/切]**
- ⑨ **テープカウンター、リセットボタン**  
カセットテープの走行量を表示します。リセットボタンを押すとテープカウンターが“000”になります。
- ⑩ **カセットテープふた、ロックボタン**  
ロックボタンを押すとカセットテープふたが開きます。テープを演奏するときはカセットテープふたを閉めてください。



- ⑫ **主音量調節つまみ**  
スピーカー音量を調節します。ライン出力を調節するときも使用します。通常は最大の位置に合わせます。
- ⑬ **音量調節部/ワイヤレスチューナー受信表示ランプ**  
表示されている機器の音量を調節します。使用していないつまみは、最小の位置にしてください。



- CDとはCDプレーヤー、テープとはカセットプレーヤーのことです。
- 外部入力1とは、外部入力1端子に接続した機器のことです。
- マイク1、マイク2とは、有線マイク1、2入力端子に接続したマイクロホンのことです。
- ワイヤレス1、ワイヤレス2とは、ワイヤレスマイクロホン1、2のことです。

⑭ テープ再生速度つまみ

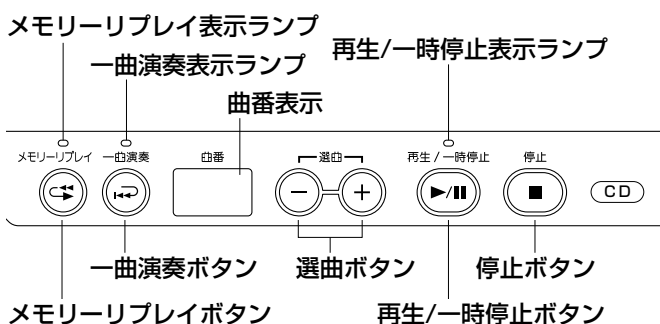
カセットプレーヤーの再生速度を調節します。中心のクリック位置が標準速度、時計方向（右）に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。（+8/-10%）

⑮ CD再生速度つまみ

CDプレーヤーの再生速度を調節します。通常は中心のクリック位置で使用します。時計方向（右）に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。（±10%）

⑯ CDプレーヤー操作ボタン

操作方法は13～14ページをご覧ください。



⑰ ライン出力端子（複式フォーンジャック）

増設用アンプ（デスク型音響装置やAV卓）などに接続します。（0 dB、200 Ω、電子平衡）

⑱ 外部入力2端子（複式ミニジャック）

ラジオカセットなどの出力を接続します。モノラルになります。（0 dB、10 kΩ、不平衡）

⑲ 外部入力1端子（RCAピンコネクター）

カセットデッキなどの出力を接続します。モノラルになります。（-10 dB、10 kΩ、不平衡）

**重要**

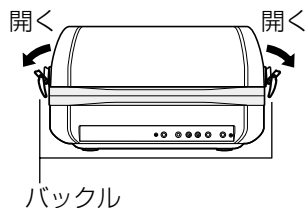
- 1台のカセットデッキの出力端子から本機の外部入力1、2端子への接続と、本機のライン出力端子から同じカセットデッキの音声入力端子への接続を同時に行わないでください。音が正常に出力されないことがあります。

⑳ 有線マイク1、2入力端子（複式フォーンジャック）

有線マイクロホン接続します。有線マイク2入力端子に入力した音声は、ワイヤレスマイクロホン2の音声とミキシングされて出力されます。（-56 dB、1 kΩ、電子平衡）

# 設置のしかた

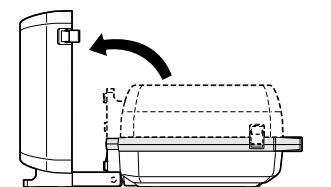
1



## バックルを外す

スピーカー部側面2か所のバックルの上部を開いて固定を外します。

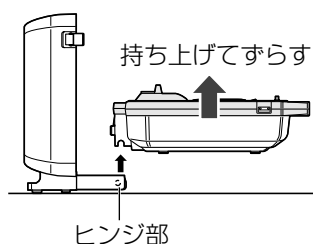
2



## スピーカー部を開く

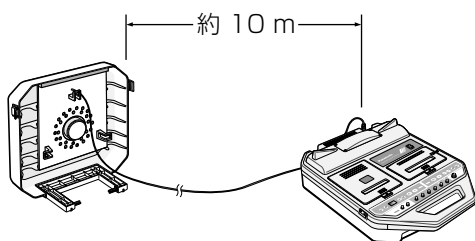
バックルを持ってスピーカー部を開きます。  
※通常、この状態で使用できます。

3



## 本体を上を持ち上げてずらし、スピーカー部のヒンジから離す

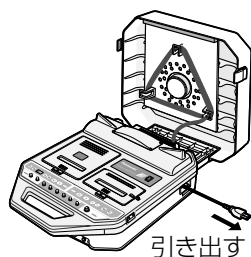
4



## スピーカー部を本体から離す (スピーカー部を離して使う場合)

スピーカーケーブルを巻き枠から外してスピーカーを配置します。  
※スピーカーケーブルは約10 mまで延ばすことができます。

5



## 電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出して、電源プラグをコンセントに差し込みます。



ACコンセント  
(AC100 V 50 Hz/60 Hz)

### 重要

- 電源コードを引き出す際、黄色のマークが現れたらそれ以上、引き出さないでください。断線などの故障の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを「切」にしてから抜いてください。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 収納時、バックルが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。スピーカー部が落下して、けがや故障の原因になります。

### メモ

- 電源コードを戻すときは、少し引いて離すとリールに巻き取られ収納できます。

# CDを演奏する



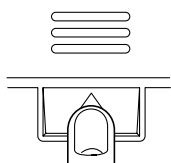
1



## 電源を入れる

電源スイッチの上側（入と表示されている側）を押します。

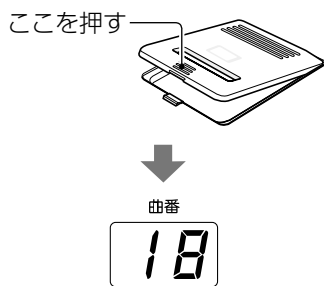
2



## CDふたを開ける

ロックボタンを押します。1段目が軽く開きますので、ロックするまで手で大きく開けてください。

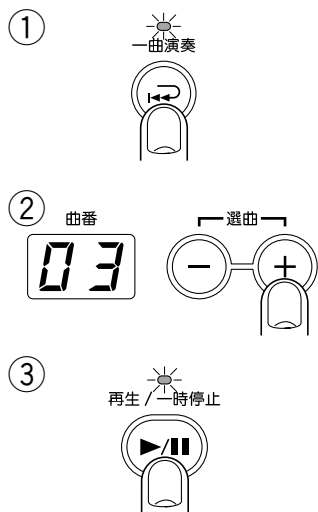
3



## CDを入れ、CDふたを閉める

総曲数が表示されます。（例：総曲数が18曲の場合）  
CDはラベル面が上になるように正しく入れてください。また、CDふたは確実に閉めてください。

4



## 演奏する（一曲演奏、連続演奏）

### ●一曲演奏するとき

手順①、②、③の操作を行ってください。選んだ曲を演奏し、演奏が終わると自動で停止します。

手順①：一曲演奏ボタンを押します。（一曲演奏表示ランプ点灯）

手順②：選曲ボタンを押して曲を選びます。

（例：3曲目を選曲した場合）

手順③：再生/一時停止ボタンを押します。（再生/一時停止表示ランプ点灯）

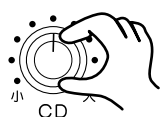
### ●連続演奏するとき

手順③の操作のみ行ってください。1番目の曲から演奏します。

### 重要

- 演奏中およびCDの回転中にCDふたを開けないでください。

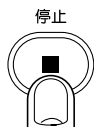
5



## 音量を調節する

CD音量調節つまみを回し、好みの音量に調節します。  
（主音量調節つまみは通常最大にします。）

6



## 演奏を停止する

停止ボタンを押します。  
CDを交換するときは、CDの回転が完全に止まってから取り出してください。

# CDを演奏する（つづき）

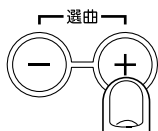
## 演奏中の操作

### ●演奏を一時停止するときは



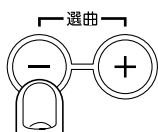
- 演奏中に再生/一時停止ボタンを押します。（再生/一時停止表示ランプ点滅）
- もう一度押すと一時停止を解除し、演奏を再開します。（再生/一時停止表示ランプ点灯）

### ●演奏中に選曲するときは



- 選曲ボタンをくり返して押し、選曲したい番号を表示させます。

### ●演奏中の曲をやり直すときは



- 選曲ボタン（-）を1回押します。

#### 重要

- CDを演奏するときは、温度があまり高くない所でお使いください。また本体は、必ず平らに置いてご使用ください。
- 演奏が終わったらCDを取り出し、CDふたを閉めておいてください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、振動の多いところで使用すると音とびを起すことがあります。このようなところでの使用は避けてください。
- 傷の付いたCDは、本機で再生できない場合があります。

#### メモ

- CDにゴミや傷が付いていたり、裏表を逆に入れたときは、右のような表示がされることがあります。このようなときは、CDの裏表を確かめるか、清掃したり交換したりしてみてください。
- 曲を選曲してから曲の頭を見つけるまでは、表示窓のトラックナンバーは点滅しますので、選曲ボタンを押したとき表示が消えている場合があります。



## 便利な使い方

### ●サーチ演奏

演奏中に早送りや早戻しをすると、好みの位置を探することができます。



〔早送り〕

- ①早送りするときは選曲ボタン（+）を押しつづけ、早戻しするときは選曲ボタン（-）を押しつづけます。



〔早戻し〕

- ②早送りや早戻しの音が小さく（演奏中の約1/4）聞こえますので、この音を聞きながら好みの位置で指を離します。

### ●メモリーリプレイ演奏

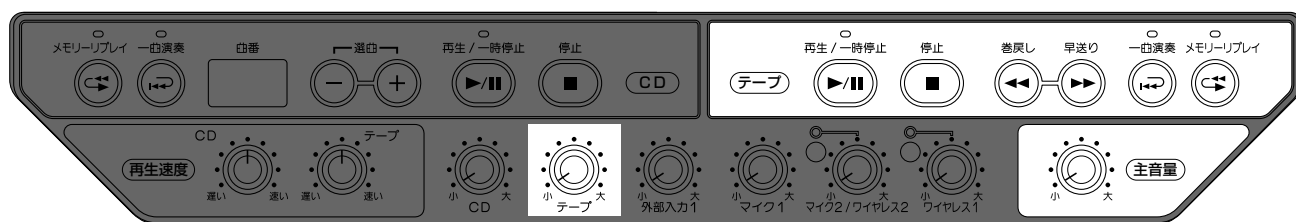
好みの位置から何回も演奏を開始します。



〔メモリーリプレイ演奏状態〕

- ①再生/一時停止ボタンを押してCDを演奏します。
- ②繰り返し聞きたい好みの位置にきたらメモリーリプレイボタンを押します。（メモリーリプレイ表示ランプ点灯）
- ③停止ボタンを押して演奏を停止します。
- ④再生/一時停止ボタンを押します。手順②で記憶された位置から演奏が始まります。
- ⑤メモリーリプレイ演奏を解除するときは、もう一度メモリーリプレイボタンを押します。（メモリーリプレイ表示ランプ消灯）

# テープを演奏する



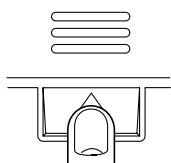
1



## 電源を入れる

電源スイッチの上側（入と表示されている側）を押します。

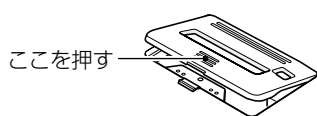
2



## カセットテープふたを開ける

ロックボタンを押します。1段目が軽く開きますので、ロックするまで手で大きく開けてください。

3



## テープを入れ、カセットテープふたを閉める

カセットテープふたは確実に閉めてください。

4



## 演奏する

再生/一時停止ボタンを押します。（再生/一時停止表示ランプ点灯）

5



## 音量を調節する

テープ音量調節つまみを回し、好みの音量に調節します。（主音量調節つまみは通常最大にします。）

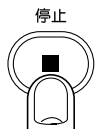
6



## 演奏を一時停止するとき

再生/一時停止ボタンを押します。（再生/一時停止表示ランプ点滅）もう一度押すと一時停止を解除し、演奏を再開します。

7

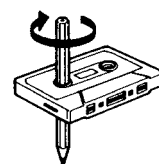


## 演奏を停止する

停止ボタンを押します。

### 重要

- クロムテープやメタルテープ、またドルビーなどの雑音低減回路を使用して録音されたテープを再生すると、聞きづらい音になりますので使用しないでください。
- 90分以上のテープは一般のテープに比べて薄く、トラブルが発生しやすいため、使用しないでください。
- テープにたるみがあるときは、鉛筆などで巻き取ってからご使用ください。テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

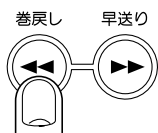


# テープを演奏する（つづき）

## 便利な使い方

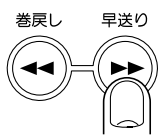
### ●頭出し

曲の頭出しを行います。



①今聞いている曲の頭出しをするときは、再生中に巻戻しボタンを押します。  
頭出しが終わると、自動で再生が始まります。

②次の曲の頭出しをするときは、再生中に早送りボタンを押します。  
頭出しが終わると、自動で再生が始まります。



③何曲か飛び越して頭出しするときは、手順①または手順②の操作をくり返し行います。

### ●メモリーリプレイ演奏

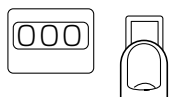
好みの位置からくり返し演奏を開始します。



①メモリーリプレイボタンを押します。（メモリーリプレイ表示ランプ点灯）

②再生/一時停止ボタンを押してテープを演奏します。

③繰り返し聞きたい好みの位置にきたらカウンターのリセットボタンを押して、カウンターを“000”にします。



④停止ボタンを押して演奏を停止します。

⑤巻戻しボタンを押します。

カウンターの数字が“999”になると巻き戻しを停止し、自動で再生が始まります。

⑥メモリーリプレイ演奏を解除するときは、もう一度メモリーリプレイボタンを押します。  
（メモリーリプレイ表示ランプ消灯）

**メモ**

●メモリーリプレイ演奏時に早送りボタンを押すと、通常の早送り状態になり、カウンターが“999”になっても再生状態にはなりません。

### ●一曲演奏

同じ曲をくり返し演奏します。



①一曲演奏ボタンを押します。（一曲演奏表示ランプ点灯）

②再生/一時停止ボタンを押してテープを演奏します。

③曲の終わりになると自動的に巻き戻し、その曲の頭出しを行い停止します。

④再生/一時停止ボタンを押してテープを演奏します。

⑤一曲演奏を解除するときは、もう一度一曲演奏ボタンを押します。（一曲演奏表示ランプ消灯）

**メモ**

●次のような場合、頭出し、一曲演奏が正常に動作しないことがありますが、故障ではありません。

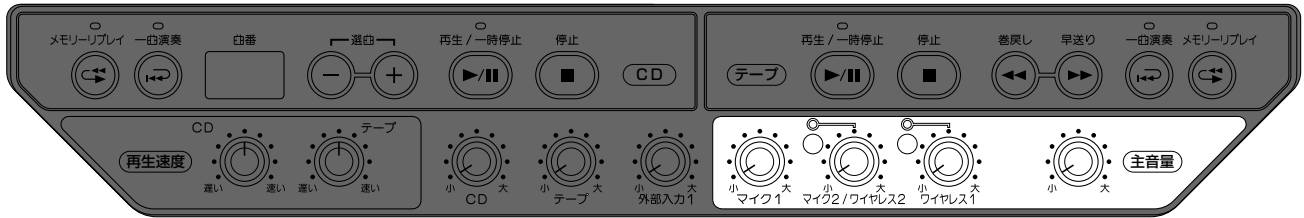
- ・音楽でピアニッシモの部分（音が非常に小さい部分）が長く続く曲や曲中に無録音部分があるもの、スピーチのテープ
- ・曲間（無録音部分）が短い（4秒以下）テープ
- ・曲間（無録音部分）に大きな雑音（ハム）が録音されているテープ



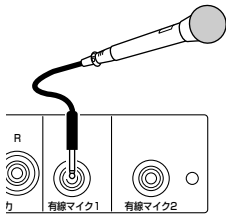
# 放送する

2本目のワイヤレスマイクを使用するには、ワイヤレスチューナーユニットWX-D4004A（別売品）を取り付ける必要があります。

ワイヤレスチューナーユニットの取り付けは、お買い上げの販売店にご依頼ください。



1



## マイクロホンを準備する

- 有線マイクロホンを使用するとき  
有線マイク1または有線マイク2入力端子にマイクを接続します。
- ワイヤレスマイクロホンを使用するとき  
ワイヤレスチューナーユニットと同じグループとチャンネルに送信周波数を設定します。  
電池を入れ、電源が入ることを確認したあと、電源を切っておきます。

2



## 電源を入れる

電源スイッチの上側（入と表示されている側）を押します。

3



## ワイヤレスマイクロホンの電源を入れる

電波を受信した側のワイヤレス1、2受信表示ランプが点灯します。このランプが点灯していないときは、放送できません。（☞ 23ページ）

4



## 音量を調節する

使用するマイクロホンの音量調節つまみを回し、適切な音量に調節します。（主音量調節つまみは通常最大にします。）

5



## 放送する

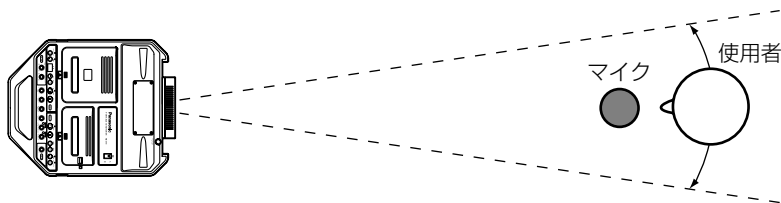
マイクロホンに向かって話します。

（次ページへ続く）

## 放送する（つづき）

### メモ

- マイクロホンスピーカーの近くで使用するとハウリング（キーンという音）がおきやすくなります。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離を離してください。
- 有線マイクロホン2とワイヤレスマイクロホン2を同時使用した場合、それぞれの音声のみキシングされて出力されます。有線マイク2/ワイヤレス2音量調節つまみを回すと、ミキシングされた音声の音量が調節されます。
- 本機のすぐ近くに電気雑音を発生する機器があると、ワイヤレスマイクロホンの音が途切れることがあります。このようなときは、ワイヤレスマイクロホンと本機を近づけるか、本機の設置場所を変えてください。
- 屋内などでワイヤレスマイクロホンを移動しながら使用すると、電波の反射や干渉によって急に音が途切れる場所があります。これをデッドポイントといいます。デッドポイントを解消するには、本機を金属製の机やロッカーなどから離すか、設置場所を1 m～2 m移動してください。
- ワイヤレスマイクロホンと本機の向きは、次の状態が最良です。

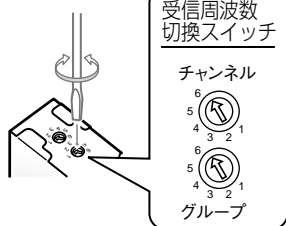


# ワイヤレスチューナーユニットの取り付けかた

- チューナーユニットは、専用品(WX-D4004A)をご使用ください。他社品など専用でないものを使用すると、音途切れなどの不具合が発生します。
- 事故防止のため、必ずお買い上げの販売店へご依頼ください。
- ワイヤレスチューナーユニットの取付時は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。ショートや感電の恐れがあります。

## 1

グループ・チャンネル  
設定用ドライバー  
(付属品)



## ワイヤレスチューナーユニットの受信周波数を合わせる

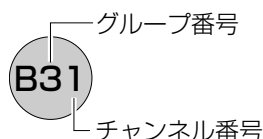
- 使用する周波数を“受信周波数表”から選択し、受信周波数切換スイッチのグループとチャンネルをそれぞれ合わせます。表にないグループやチャンネルに合わせると受信できません。

**【受信周波数806.625 MHzを使用する場合】**

グループを“3”、チャンネルを“1”に合わせます。

- 2台取り付けるときは、同じグループの異なるチャンネルに設定します。

チャンネル表示ラベル (付属品)

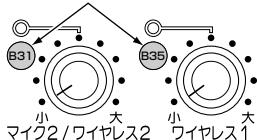


●受信周波数表

周波数 (MHz)	グループ (下2桁目)、チャンネル (下1桁目)					
	1	2	3	4	5	6
806.125	B11					
806.250		B21				
806.375	B12					
806.500		B22				
806.625			B31			
806.750				B41		
806.875			B32			
807.000		B23				
807.125	B13					
807.250						B61
807.375			B33			
807.500				B42		
807.625					B51	
807.750	B14					
807.875		B24				
808.000				B43		
808.125					B52	
808.250			B34			
808.375					B53	
808.500		B25				
808.625			B35			
808.750					B54	
808.875		B26				
809.000	B15					
809.125				B44		
809.250			B36			
809.375				B45		
809.500	B16					
809.625					B55	
809.750				B46		

## 2

チャンネル表示ラベル貼付位置



## チャンネル表示ラベルを貼る

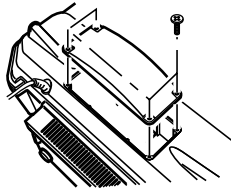
手順1で設定した周波数を表すチャンネル表示ラベル (付属品) を本機に貼ります。

(次ページへ続く)

その他

# ワイヤレスチューナーユニットの取り付けかた（つづき）

## 3

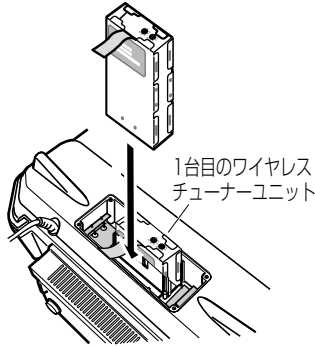


### ワイヤレスチューナー装着部を開ける

ねじ（4本）を外してふたを開けます。

## 4

2台目のワイヤレスチューナーユニット

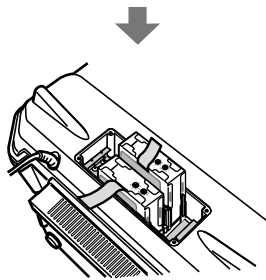


### ワイヤレスチューナーユニットを収納する

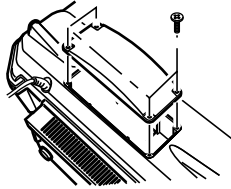
組み込まれている1台目のワイヤレスチューナーユニットと同じ向きで収納します。コネクタが確実に差し込まれるように装着してください。

#### 重要

- ワイヤレスチューナーユニットの上下を間違えないでください。コネクタが下向きになります。



## 5



### 正しく受信することを確認し、ふたを閉める

使用するワイヤレスマイクロホンの取扱説明書に従って、ワイヤレスマイクロホンの送信周波数をワイヤレスチューナーユニットの受信周波数と合わせます。

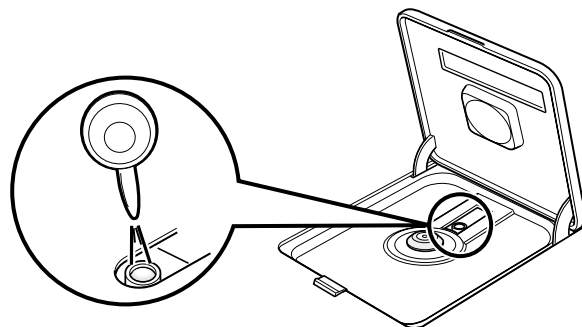
正しく使用できる（☞17ページ）ことが確認できたらふたを閉めます。（手順3参照）

# お手入れ

## CDプレーヤー

CDプレーヤーのレンズにほこりが付いたときは、市販のレンズクリーニング用ブローアを使いほこりやゴミをはきだしてください。

- CDの出し入れ以外は、ふたを必ず閉じておいてください。
- レンズには手を触れないでください。



## カセットプレーヤー

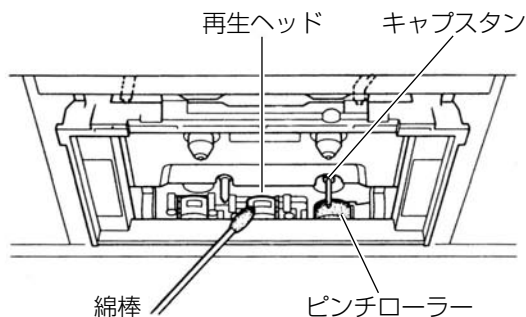
### ●ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーの清掃

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーは常にテープが接触するため、磁性粉やゴミなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると次のような症状が出てきますので、症状が出る前に市販のクリーニングキットを使い、定期的（約10時間の使用を目安）にヘッド部を清掃してください。

- 音質が悪い
- 音が小さい

#### 〔清掃手順〕

- ①カセットテープふたを開けます。
- ②綿棒にクリーナー液をしみ込ませ、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなどのテープが触れる部分の汚れをふき取ります。
- ③清掃後は、内部に付いたクリーナー液が十分に乾いてから使用してください。



#### 重要

- ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。
- ドライバーの先や金属棒は使用しないでください。
- カセットデッキの機構部に注油すると故障の原因になります。絶対に注油しないでください。

### ●ヘッドの消磁

ヘッド部が磁化されると、雑音（サーサーという音）が増えたり、高音域が消されたりします。約100時間の使用を目安にヘッド消磁機（市販品）で消磁することをおすすめします。消磁方法については、ヘッド消磁機の取扱説明書をお読みください。

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグが抜けていませんか？ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。</li> </ul>	12
スピーカーから音が出ない、または小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーケーブルのプラグが抜けていませんか？ スピーカーケーブルのプラグをスピーカー出力端子に確実に差し込んでください。</li> </ul>	9, 10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主音量調節つまみが絞られていませんか？ 主音量調節つまみを「大」の方向に回してください。</li> </ul>	9, 10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各音量つまみが「小」になっていませんか？ 各音量つまみを「大」の方向に回してください。</li> </ul>	13, 15, 17
カセットテープの再生音が割れたり、小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーが汚れていませんか？ ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをクリーニングしてください。</li> </ul>	21
	<ul style="list-style-type: none"> <li>カセットテープが傷んでいませんか？ 別のカセットテープを再生して問題ない場合は、カセットテープを新しいものと交換してください。</li> </ul>	—
カセットテープの回転むらがある 巻き戻し、早送りが遅い	<ul style="list-style-type: none"> <li>カセットテープにたるみがありませんか？ カセットテープのたるみを鉛筆などを使用して直してください。</li> </ul>	7
CDが演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDが裏返しになっていませんか？ ラベル面が上になるようにしてください。</li> </ul>	7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDが汚れていませんか？ 柔らかい乾いた布で演奏面を清掃してください。</li> </ul>	7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンズに露が付いていませんか？ 電源を入れ、約1~2時間待ちます。</li> </ul>	7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDに傷が付いていませんか？ 傷のないCDを使用してください。</li> </ul>	—

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
有線マイクロホンの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マイクのプラグが抜けていませんか？ マイクのプラグを有線マイク1、2入力端子に確実に差し込んでください。</li> </ul>	17
ワイヤレスマイクロホンの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用可能ワイヤレスマイクロホン以外を使用していないですか？ 使用可能ワイヤレスマイクロホンを使用してください。</li> </ul>	6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワイヤレスマイクロホンとワイヤレスチューナーユニットの周波数が合っていますか？ ワイヤレスマイクロホンとワイヤレスチューナーユニットの周波数を合わせてください。</li> </ul>	17~18
ワイヤレスマイクロホンを使用中に、受信表示ランプが点灯しない（電波を受信しない）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワイヤレスチューナーユニットが取り付けられていますか？ ワイヤレスマイクロホン2を受信するためには、ワイヤレスチューナー増設部に別売りのワイヤレスチューナーユニットを増設する必要があります。</li> </ul>	19~20
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワイヤレスマイクの電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にしてください。</li> </ul>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワイヤレスマイクの乾電池が消耗していませんか？ 新しい乾電池と交換してください。</li> </ul>	-
音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量調節部のつまみが大きくなっていませんか？ 音量調節部のつまみを下げて、主音量調節つまみを上げてください。</li> </ul>	-

# 仕様

※0 dB=0.775 V

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力 <sup>※1</sup>	30 W
最大出力	25 W (定格出力15 W)
スピーカー	20 cmコーン型、4 Ω
周波数特性	100 Hz～10 kHz (外部入力1、定格より-10 dB出力時)
ひずみ率	5 %以下 (外部入力、1 kHz、定格出力時)
入力回路 (0 dB=0.775 Vrms)	有線マイク×2 <sup>※2</sup> ：-56 dB、1 kΩ電子平衡、複式フォーンジャック 外部入力1×1：-10 dB、10 kΩ、不平衡 RCAピンコネクタL・R (モノラル) 外部入力2×1：0 dB、10 kΩ、不平衡 複式ミニジャック (モノラル)
出力回路 (0 dB=0.775 Vrms)	スピーカー：15 W、4 Ω、フォーンジャック (モノラル) ライン：0 dB、200 Ω電子平衡、複式フォーンジャック (モノラル)
CDプレーヤー	再生/一時停止、停止、選曲 (+/-)、早送り、早戻し、一曲演奏、 メモリーリプレイ、速度微調節 (±10 %) 機能付き
カセットプレーヤー	2トラックモノラル 再生速度微調節 (+8 %、-10 %)、頭出し、一曲演奏、メモリーリプレイ、 フルオートストップ機能付き
ワイヤレスチューナー	1台目：800 MHz帯PLLダイバシティワイヤレスチューナーユニット装着済み 2台目：専用ワイヤレスチューナーユニット WX-D4004Aを1台装着可能 (別売) <sup>※2</sup>
電源コード	約2 m (巻取機構付き)
使用温度範囲	+5 °C～+40 °C
外形寸法	幅354 mm 高さ210 mm 奥行き436 mm
質量	6.8 kg (ワイヤレスチューナーユニット1台を含む)
仕上げ	操作部 : グレイッシュブルー スピーカー部 : ライトグレー

※1 この表示は電気用品安全法にもとづいています。

※2 有線マイクロホン2とワイヤレスマイクロホン2を同時に使用した場合、それぞれの音声がミキシングされて出力されます。

## ●別売品

ワイヤレスチューナーユニット (品番：WX-D4004A)







修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間  
ただし、カセット部のヘッド、ピンチローラー、ベルト、モーター、CD部の光ピックアップは消耗部品となりますので、部品代ならびに交換費用は保証期間中であっても有償とさせていただきます。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このポータブルCDアンプの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

22、23ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。  
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ご連絡いただきたい内容

製品名	ポータブルCDアンプ
品番	WE-370A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社 システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-878-410

受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは <http://panasonic.biz/pss/info>

#### ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WE-370A
	販売店名	電話（	）	—		

## パナソニック株式会社 システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号